

## 別紙1

保険薬局及び保険薬剤師療養担当規則（昭和二十二年厚生省令第十六号）

【医療法等の一部を改正する法律附則第一条第二項に掲げる規定の施行の日（令和八年四月一日）施行】

（傍線部分は改正部分）

	改 正 後	改 正 前
2	<p>（健康保険事業の健全な運営の確保）</p> <p>第二条の二 保険薬局は、その担当する療養の給付に關し、次の各号に掲げる行為を行つてはならない。</p> <p>一 保険医療機関若しくは医療法（昭和二十二年法律第一百五号）第一条の二第一項に規定するオンライン診療受診施設（以下「オンライン診療受診施設」という。）（別に厚生労働大臣が定める要件に該当するものを除く。以下この号において同じ。）と一体的な構造とし、又は保険医療機関若しくはオンライン診療受診施設と一体的な経営を行うこと。</p> <p>二 保険医療機関若しくは保険医又はオンライン診療受診施設に対し、患者に対して特定の保険薬局において調剤を受けるべき旨の指示等を行うことの対償として、金品その他の財産上の利益を供与すること。</p> <p>（略）</p>	<p>（健康保険事業の健全な運営の確保）</p> <p>第二条の二 保険薬局は、その担当する療養の給付に關し、次の各号に掲げる行為を行つてはならない。</p> <p>一 保険医療機関と一体的な構造とし、又は保険医療機関と一体的な経営を行うこと</p> <p>二 保険医療機関又は保険医に対し、患者に対して特定の保険薬局において調剤を受けるべき旨の指示等を行うことの対償として、金品その他の財産上の利益を供与すること。</p> <p>（略）</p>

改 正 後	改 正 前
<p>目次</p> <p>第一章 保険医療機関の療養担当（第一条—第十二条の五）</p> <p>第二章・第三章（略）</p> <p>附則</p> <p>（法第七十条の一第一項第一号の厚生労働省令で定める要件）</p> <p>第十二条の四 法第七十条の一第一項第一号の厚生労働省令で定める要件は、医師法（昭和二十二年法律第二百一号）第十六条の一第一項の規定による臨床研修又は歯科医師法（昭和二十二年法律第二百一号）第十六条の一第一項の規定による臨床研修を修了した者であつて、次の各号のいずれかに該当するものとする。</p> <p>一 保険医療機関（医師の場合は、病院に限る。）において保険医として二年以上診療に従事した経験のある者であること。</p> <p>二 法第六十二条第二項第一号又は第二号に掲げる病院又は診療所（医師の場合は、病院に限る。）において二年以上診療に従事した経験のある者であること。</p> <p>三 医療法第二十条の一十二第一項第一号に規定する計画の適用を受け、現に当該計画に基づき診療に従事している者又は当該計画の適用後二年以内の者であること。</p> <p>四 一般社団法人日本専門医機構が認定する基本領域の専門医の資格を持つ者その他これに準ずる者であること。</p> <p>五 矯正医官、医師又は歯科医師である自衛官その他の公務員として五年以上勤務した経験のある者であること。</p> <p>六 第一号、第二号又は前号の要件のうちいずれかの要件に係る期間の合計が五年を超える者であること。</p>	<p>目次</p> <p>第一章 保険医療機関の療養担当（第一条—第十二条の二）</p> <p>第二章・第三章（略）</p> <p>附則</p> <p>（新設）</p>

七 緊急に保険医療機関の管理者の地位を承継する者その他やむを得ない事由がある者であるトヨ。

（保険医療機関の管理者の責務）

第十二条の五 保険医療機関の管理者は、法第七十条の一第一項に規定する責務のほか、次に掲げる責務を果たさなければならぬ。

- 一 当該保険医療機関に勤務する保険医が第一章に定める保険医の診療方針等を遵守するよう監督すること。
- 二 当該保険医療機関における療養の給付に関する厚生労働大臣又は地方厚生局長若しくは地方厚生支局長に対する申請、届出等に係る手続及び療養の給付に関する費用の請求に係る手続が適正に行われるよう監督すること。
- 三 当該保険医療機関における診療録の記載及び整備並びに療養の給付の担当に関する帳簿及び書類その他の記録の保存が適正に行われるよう監督すること。
- 四 当該保険医療機関に勤務する医師、歯科医師、薬剤師その他従業者の連携を図ることも、地域の病院若しくは診療所その他の保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者との連携を図ること。

（新設）